

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和4年9月号

◇ 行事報告 ◇

8月18日（木）摩利支天月例祭



新型コロナウイルス感染数が中々減らない中、今回も本堂で式典を執行させていただきました。

さて、8月の棚経の折に各家に伺わせて頂き、仏壇の香炉が綺麗に掃除されているのを拝見して、嬉しく思っております。

仏道修行は難しいものではなく、家に行っても行えるように仏壇が考案されました。

私たちの迷い・苦しみはこの身から生じるもので、正しく見ているか、正しく聞いているか、正しい言葉を使っているか、が問われます。仏教での修行として実践する8つの徳目（八正道）がそれです。この道を常に守って実行することで、悟りが得られ、涅槃（ねはん）に到達されると説かれています。

この八正道ですが、まず、「正見（正しい見解、人生観）」は、体では目、仏壇では灯明に当たります。次に、「正語（正しいことば）」は口ですね。これが香炉にあたります。「正精進（正しい努力、修養）」は耳です。冬の寒さに耐えて春に花が咲くまた、菊が聞くに通じ、花瓶にあたります。「正思（正しい思い、意欲）」は頭です。仏壇の前で座り、ご先祖を偲びます。ここからは仏壇の前に座る事で、心・精神の安定を願う修行となり、「正業（正しい行い）」はお経を上げること、お釈迦様の言葉を唱えます。「正命（正しい生活）」は自分よがりにならないようにご先祖様がいてこそその自分であり、恥ずかしくない生き方をする気持ちです。「正念（正しい気遣い、思慮）」親兄弟や周りの方にも気遣い、仲良くし



ていく事。「正定(正しい精神統一)^{しょうじょう}」ゆっくり座り心を落ち着かせることです。

このように仏道修行は、仏壇を綺麗にし、その前でご先祖様にお経を唱え、自分の心を見つめることで行えるわけです。お彼岸に向けてゆったりとした心で過ごしたいですね。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

10月18日(火)・11月18日(金) 午前10時より執行いたします。

只今当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

お会式法要

11月19日(土) お逮夜・翌20日(日) に執行いたします。

19日は午後6時より、20日は、午前10時より一座目、午後2時30分より最終座を始めさせていただきます。(20日の一座目と最終座の間は随時)是非ご参拝下さい。

功徳主	日蓮大聖人 報恩御会式 御寶前	来る十一月二十日午後六時・翌日午前十時と 午後二時三十分には本了院妙法華寺本堂にて 報恩御会式を執行しますのでご参詣ください
	金	円
妙法華寺 令和元年己亥之報恩御会式法要 各家先祖供養回向		

担当世話人のおられる檀家の方は、10月にお渡しする左の写真の封筒を以て御浄財をお願いいたします。また、遠方の方は、10月のお便りに同封する振込用紙にて御浄財をお願いいたします。

なお、御浄財を頂いた方には、右の写真にあります御札をお渡しします。この御札は御仏壇に安置して頂くものです。御札の一番上にあります曼荼羅は災厄から護って下さるものです。その下に日蓮聖人の尊名と聖語をしるしております。

一年を通じて日蓮聖人の威徳をご先祖様にお唱えし、功徳をお積み下さい。



合掌